

週間市場レポート (2021年6月14日~6月18日)

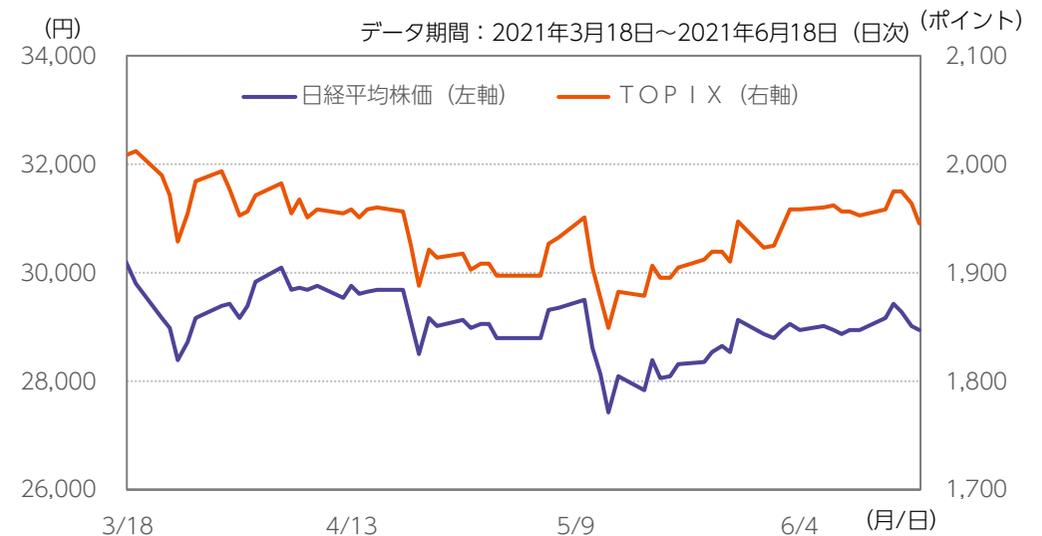
1) 先週の市場動向

指数名	国	前週末 2021/6/11	先週末 2021/6/18	前週末比 (%)
日経平均株価 (円)		28,948.73	28,964.08	0.05
TOPIX (東証株価指数)		1,954.02	1,946.56	▲0.38
ダウ工業株30種平均 (ドル)		34,479.60	33,290.08	▲3.45
S & P500種指数		4,247.44	4,166.45	▲1.91
ナスダック総合指数		14,069.42	14,030.38	▲0.28
ユーロ・ストックス50指数		4,126.70	4,083.37	▲1.05
S & P/ASX300指数		7,307.54	7,358.89	0.70
上海総合指数		3,589.75	3,525.10	▲1.80
MSCI AC アジア (除く日本)*		1,072.63	1,066.67	▲0.56
東証REIT指数		2,149.33	2,113.00	▲1.69
FTSE NAREIT All-Equity REIT 指数		878.67	850.28	▲3.23
ASX300 REIT 指数		1,566.10	1,561.10	▲0.32
グローバルREIT (除く日本)*		207.64	201.59	▲2.92
日本10年国債 (%)		0.035	0.059	0.024
米国10年国債 (%)		1.452	1.438	▲0.014
ドイツ10年国債 (%)		▲0.274	▲0.200	0.074
英国10年国債 (%)		0.708	0.752	0.044
ドル/円		109.66	110.21	0.50
ユーロ/円		132.80	130.74	▲1.55
英ポンド/円		154.74	152.17	▲1.66
豪ドル/円		84.52	82.44	▲2.46
フィラデルフィア半導体指数		3,210.06	3,152.81	▲1.78
WTI原油先物 (ドル)		70.91	71.64	1.03
CRB指数		212.25	205.86	▲3.01

2) 日本の株式・債券市場

≪ 株式 ≫

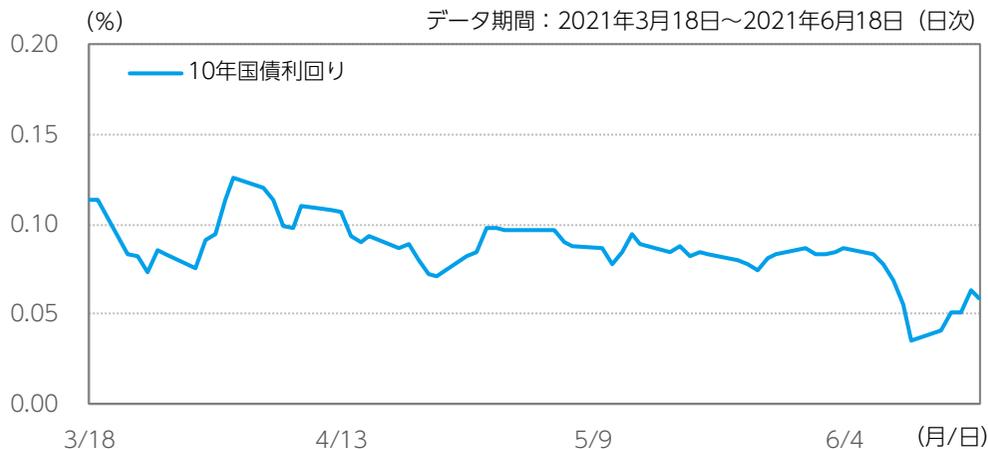
日本株式市場（日経平均株価）は、前週末比で横ばいとなりました。米連邦公開市場委員会（FOMC）の政策金利見直しにおいて、利上げ時期の予想が前倒しされ、利上げ開始が早まるとの見方から米国株式市場が下落した流れを受け、週末にかけて下落となりました。一方、米長期金利が低下する場面では、米国株式市場でハイテク株を中心に上昇したことが好感され、国内株式も買われ、週間では横ばいとなりました。なお、週末に開催された日銀金融政策決定会合で、企業の資金繰り支援策の期限延長が決定したものの、市場の反応は限定的でした。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成
 ※現地通貨ベース * ▲はマイナスを表します。

≪ 債券 ≫

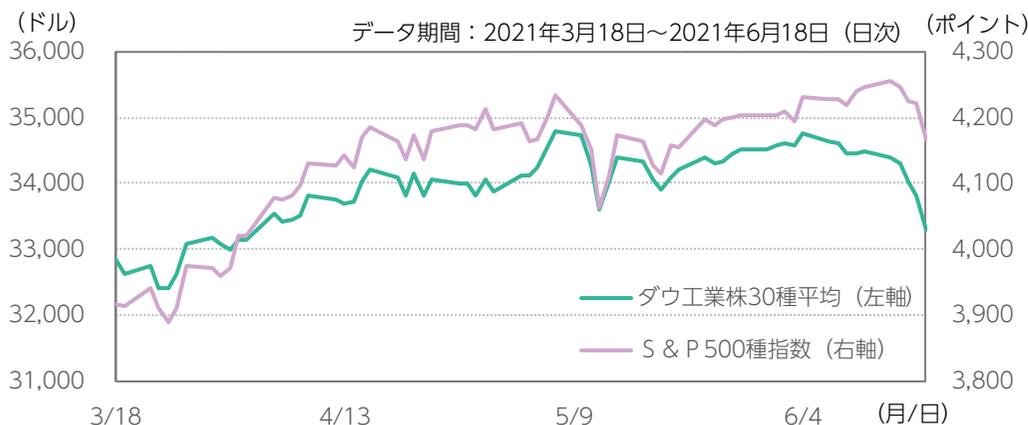
日本債券市場（10年国債金利）は、前週末比で上昇となりました。週後半に、国内外の金融政策決定会合を控え、様子見ムードから週前半は積極的な売買は手控えられ、国内金利は落ち着いた値動きとなりました。15～16日開催のFOMCの結果から、米国の利上げの開始時期が想定より早まるとの見方から米長期金利が一時上昇し、国内金利も上昇する場面もあったものの（価格は下落）、米長期金利の上昇が落ち着くと、週末にかけて低下しました。



3) 米国の株式市場

≪ 株式 ≫

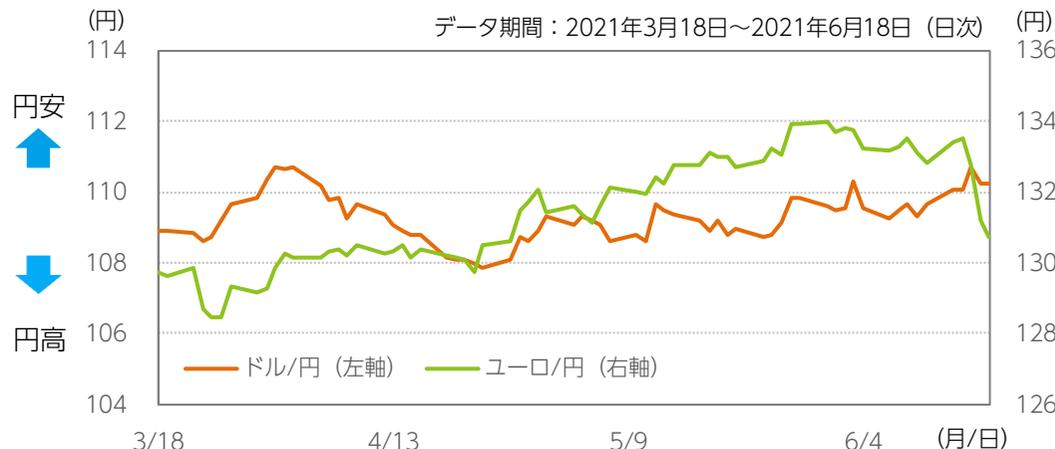
米国株式市場（NYダウ）は、前週末比で下落となりました。週初は、FOMCを控え、経済再開の期待から上昇基調にあった消費関連株や景気敏感株などを中心に持ち高を調整するための売りに押されました。FOMCの政策金利見通しで2023年末までに2回の利上げが示唆されると、市場予想よりも利上げに前向きと受け止められ、週末まで売られました。



出所) ブルームバーグのデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

4) 外国為替市場

米ドル/円相場は、前週末比で円安米ドル高となりました。週前半にFOMCを前に、持ち高調整目的の円買い米ドル売りが進む場面もあったものの、FOMCで利上げ時期の予想が前倒しされ、米長期金利が一時上昇すると、日米の金利差拡大を見込んだ円売り米ドル買いが進みました。



5) 今週の見通しについて

先週の株式市場は、FOMCの結果を受けて、週末にかけて日米両市場ともに下落しました。

6月のFOMCで注目されていた、FOMCメンバーによる「政策金利見通し」では、2023年末までの利上げ見通しを示すメンバーが18人中13人となり、2023年末までに2回の利上げが示唆される結果となりました。経済活動の再開により、今後、想定以上に米国の景気回復が進めば、利上げ時期の前倒しが意識されることも予想されます。国内では、東京都や大阪府などに発令された3度目となる緊急事態宣言が20日に解除され、新型コロナワクチン接種の普及と足並みを揃えながら、経済活動が正常化に向かうことが期待されます。

当面、米国の利上げやテーパリング（量的緩和縮小）の開始時期をめぐる市場の思惑に振られることも予想されます。今週の株式市場は、FOMCを大きな波乱なく通過したことによる投資家心理の改善などから、上値を追う展開となりそうです。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

NISSAY
ASSET MANAGEMENT

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506

9：00～17：00（土日祝日・年末年始を除く）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>